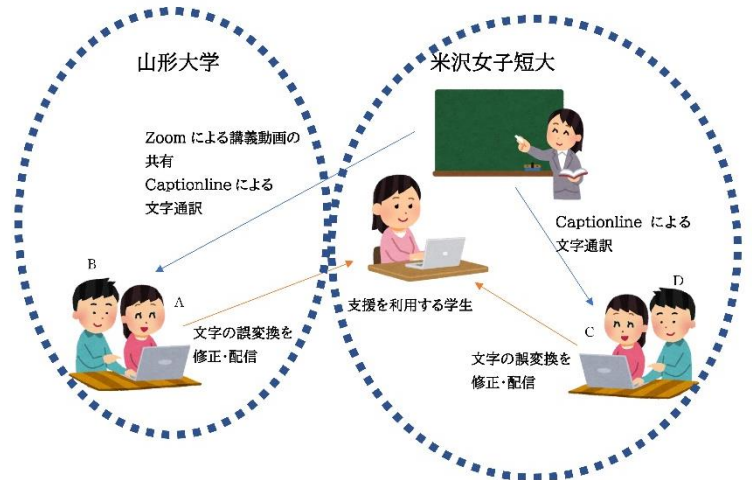


本学学生2名が、山形大学障がい学生支援センター主催の「障がい学生支援技術養成講座(聴覚)」に参加しました！

聴覚障がい学生の情報保障(パソコンテイク)のため、有償ボランティアサークル「チューリップ」の学生が支援にあたっています。

また、[山形大学障がい学生支援センター](#)からもご協力いただき、講義の内容をオンラインで共有し、Web上でパソコンテイクを行う遠隔情報保障支援を週2回程度行っています。



令和3年9月24日(金)にオンラインで開催された上記講座に、「チューリップ」の2年生2名が参加しました！山形大学の支援学生のみなさんや講師の先生方とオンラインで交流しつつ、支援に必要な技術や心構えを学びました。

参加した学生の感想



障がい者支援と聞くと、障がいをもっていない人が「何かしてあげなければいけない」と思ったり、「自分に出来ることはないから」と遠ざけたりしてしまいがちです。しかし、支援はそこまでハードルの高いものではないと気づきました。少しの気遣いで、一緒にあらゆる場面を楽しめると思いました。また、パソコンノートテイクは、継続することでだんだん上達していくもので、今回の講座でも上達を感じられ、嬉しかったです。支援の重要性を再確認出来たので、これからも利用学生に分かりやすい支援を心掛けてがんばりたいです。



利用学生の立場としてこの講座に参加して改めて自分の環境がすごく恵まれていることに気づくことができました。支援学生の皆さんのおかげで大学の授業がより一層楽しいものになり、結果にも反映されているのでとても嬉しいです。何よりも障がいのことを理解してくれて支援してくださっているので、支援学生の皆さんには感謝しています。残りの期間も頑張っ結果を出していくのでこれからも支援よろしくをお願いします！